



10月はポイ捨て禁止月間です。 あなたも「18万人ポイ捨て一掃大作戦」に参加しませんか!?

「出雲市ポイ捨て禁止推進協議会」では、10月をポイ捨て禁止月間と定め「出雲市18万人ポイ捨て一掃大作戦」を行います。

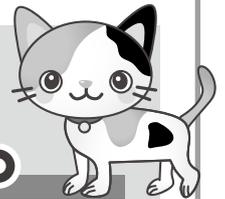
この作戦は、住民1人あたり、家庭で不要になったビニール袋1袋分のポイ捨てごみを拾うことを目標にしています。拾ったごみは、分別し、家庭ごみと一緒に指定袋に入れて収集日に出してください。



神在月である10月は、観光客をはじめ大勢の方が出雲を訪れます。ごみのない気持ちの良いまちでお迎えしたいものです。ポイ捨て一掃大作戦に参加して、自宅周辺・道路等に落ちている空き缶やたばこの吸い殻などのポイ捨てごみを拾い、きれいな出雲市にしましょう。



9月20日から9月26日は 『動物愛護週間』です。



ペットや身近な動物に愛情を持って接していますか?人も動物も一緒に暮らす仲間です。ルールやマナーを守って、誰もが快適に生活できるようにしましょう。

○犬の飼い主には「けい留義務」があります。

犬は必ずつないで飼育するか、しっかりとした囲いの中で飼うようにしてください。また、動物の種類に応じてしつけや訓練をして、人に危害を加えたり、鳴き声などで近隣に迷惑をかけることのないようにしましょう。

○道路や公園など他人の土地を汚さないようにしましょう。

散歩のときは、リードを付け、ふんを片付けるための用具を携帯し、必ず持ち帰って処分しましょう。

○飼い犬の登録と狂犬病予防注射を受けましょう。

飼い犬の登録（生涯1回）と狂犬病予防注射（毎年1回）を必ず行いましょう。
また、飼い主変更や住所の変更、犬が死亡したときは市役所への届出が必要です。

○ペットは最後まで責任を持って飼いましょう。

動物の習性等を正しく理解し、一生涯世話が続けることができるかをよく考えて、責任を持って飼いましょう。

○むやみに繁殖させないようにしましょう。

動物にかけられる手間、時間、空間には限りがあります。きちんと管理できる数を超えないようにしましょう。また必要に応じて不妊去勢手術などの繁殖制限措置を行いましょう。

ミコトツキ

第33回



飼育下トキの繁殖状況について

昨年11月にNペアに代わって、BBペアを迎え、今期も3ペアで「自然ふ化・自然育雛」を基本として繁殖に取り組みました。

新加入のBBペアは、計8個の卵を産みました。抱卵はうまくできるのですが、ふ化する時にうまくヒナの助けができず、ヒナを誕生させることが出来ませんでした。

AFペアは、計5個の卵を産み、3羽がふ化し、巣立ちました。

AKペアは、計5個の卵を産みましたが、無精卵でした。



当センター全体でヒナは3羽巣立ち、今年度の繁殖期は終了となりました。

※左上の写真がAFペアのオスと幼鳥No.621(写真手前が幼鳥)、下がNo.618とNo.619。

巣立った3羽の内訳は、自然ふ化・自然育雛が2羽(No.618とNo.619)、人工ふ化・自然育雛が1羽(No.621)でした。

平成29年8月9日時点で、出雲市を含む全国のトキ飼育地の結果は、全29ペアから計166個の産卵があり、53羽がふ化しました。このうち

47羽が巣立ち、飼育下トキの総個体数は、201羽となりました。
(全体での増加見込み数は、34羽)

おたずね
出雲市トキ分散飼育センター
☎13550

日本紅斑熱やツツガムシ病が発生しやすい時期になりました ～ダニに刺されないよう予防しましょう～

野山や畑、家の裏山等へ出かけるときには、次のことに注意してください。

- ◎長袖、長ズボン、手袋などを着用し、肌の露出を少なくし、肌が出る部分には、除虫スプレーを噴霧すると効果的です。
- ◎山野から帰宅したら、すぐに肌や服についたダニを取り除き、着替えます。(服はよく振ってダニを落とし、他の衣服とは別に洗濯してください。)
- ◎道路端、畑、墓など人が出入りするところは、下草刈りをしましょう。草の茂る草地に入り込んだり、地面に直接座り込んだりしないように注意しましょう。

おたずね／健康増進課 ☎21-6829